

# ☆世界遺産登録☆北海道・東北縄文遺跡群

＜こんなツアーはいかが？＞

1日目：仙台駅→二戸駅→御所野遺跡→道の駅かづの→大湯環状列石→十和田湖→奥入瀬溪流で1泊  
2日目：奥入瀬溪流散策→十和田現代美術館→八食センター→是川石器時代遺跡→ニツ森貝塚→浅虫温泉で1泊  
3日目：浅虫温泉→青森駅→ねぶたの家ワ・ラッセ→青森魚菜センター→小牧野遺跡→新青森駅→新函館北斗駅→函館駅周辺に1泊、夜函館山ロープウェイ  
4日目：函館駅→垣ノ島遺跡→大船遺跡→大沼公園→五稜郭・五稜郭タワー→金森赤レンガ倉庫→函館駅



ユネスコの世界遺産委員会は2021年7月27日に三内丸山遺跡をはじめとした北海道・東北の縄文遺跡群を世界遺産に登録することを決めた。国内の文化遺産は20件目。紀元前の遺跡は初めて。自然遺産と合わせると25件に。登録されたのは、北海道と青森、岩手、秋田の3県に点在する17遺跡。三内丸山遺跡の他に、ストーンサークルを主体とした「大湯環状列石」（秋田県鹿角市）や、日本最古の土器片が見つかった大平山元遺跡（青森県外ヶ浜町）、貝塚と集落跡の「北黄金貝塚」（北海道伊達市）など、1万年以上続いた縄文時代の様々な年代の遺跡がある。縄文は日本独自の時代区分。農耕と牧畜と定住がほぼ同時に始まった世界の他の地域とは異なり、縄文の人々は獣や魚、果物などをとって食べる狩猟、採集、漁労の生活をしながら、1カ所に定住するようになった。土偶や墓が見つかるなど、複雑で豊かな精神文化も発展した。ユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議（イコモス）」が5月、約1万5千年前にさかのぼる、農耕以前の定住生活のあり方や複雑な精神文化を示す」と17遺跡すべての価値を認め、世界遺産に登録するように勧めていた。



三内丸山遺跡

4年7月7日発行

発行者

山下 孝子

## おすすめサイト

☆「JOMONぐるぐる」  
（北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト）  
☆「【祝！世界遺産登録！】北海道・北東北の縄文遺跡群・旅行・観光特集」

## 出土品あれこれ

三内丸山の他の地域でも、土偶や縄文土器が出土していることがわかった。



## 編集後記

た際わ録世遺跡  
いにかさ界跡な三  
と見れた遺群ど内  
思にたた産がの丸  
っ行のにな縄山  
たき実か登ゼ文遺



知事も頑張った！

